

第190回: 加倍奉還

アベノミクス現象で運気の絶頂にある安倍晋三さんは第何代目の首相かご存知だろうか。なんと第90代と第96代の首相なのである。中国人が聞いたら日本の憲政の歴史は300年くらい続いていると思うだろう。因みに、安倍首相よりも一つ若い震旦のリコノミクス、こと李克強首相は、周恩来、華国鋒、趙紫陽、李鵬、朱鎔基、温家宝に次ぐ第7代目だ。しかも彼は就任したばかりであり、中国はつい最近まで建国後62年の歴史を6名の首相で回してきたのである。社会主義と民主主義、どっちが良い制度か知らんが、後者の方が手間とコストの掛かるシステムであることは間違いない。中国の7人に対し、日本は96人。これだけ大量に首相が誕生すれば、選挙権を持っていない日本の若者だって迷惑する。若いころ、伊藤博文・黒田清隆・山県有朋・松方正義・・・と続く歴代首相を、イクヤマイマイ、オヤイカサカサ、カヤオテハタカ、と九字の真言のような呪文を唱えながら覚えたものだ。すき好んで暗記したわけではないが、せめてこのくらいは覚えておかないと、偏差値の高い大学は受験生を相手にしてくれないからね。

いまご存命の首相経験者は安倍さんを含め13名もいる。首相引退後の余生の過ごし方は各人様々で森・麻生・菅・野田の現役代議士はともかく、静かに隠遁生活に入った村山富市氏や、水墨・茶杓の世界に活動場所を移した細川護熙氏に文句はない。問題は政界から引退したあとも、未練がましいと云うか、往生際が悪いと云うか、しょっちゅう公衆の面前にしゃしゃり出る奴だ。日本固有の領土である尖閣諸島に係る領有問題に関し、頼まれもしないのに大陸に阿る妄言を吐く不逞の輩は、廃棄処分でも、国外追放処分でも良いから何とかして欲しい。中国にシナを作るなんて洒落にもならんよ。欧米の政治家は回顧録を書いて、政治家人生を締め括る方が多いようで、チャーチル、ドゴール、アイゼンハワー、アデナウアー、サッチャー、近くはブレアと枚挙に遑がないが、近年日本の首相経験者でまともな回顧録を執筆したのは中曽根康弘氏だけだ。流石は大勲位だけあって、中曽根回顧録を読めば最近の粗製乱造首相とは格が違うことが一目でわかる。

戦中から戦後にかけて激動の時代を生き抜いた世界各国のリーダーたちの回顧録のなかで、ノーベル文学賞を受賞したウィンストン・チャーチルは別格として、読んで面白かったのは現役時代に評判の悪かったリチャード・ニクソンが書いた「指導者とは(文藝春秋社・徳岡孝夫訳)」である。ニクソンはアイゼンハワー政権の副大統領時代から、大統領を辞任するまでの約20年間、世界の80カ国を訪問し、当時の指導者の大半に会っており、彼らから直に聞いた話や行動をつぶさに分析し、指導者に共通する資質を抽出することに成功した。「歴史を学ぶのを怠った人は歴史を繰り返す。逆に一時代の指導者が先行者よりも遠く未来を見通せるのは、彼らが先人の肩の上に立つからだと言える」という箴言はそのひとつである。

ニクソンが最も評価する指導者はチャーチルとドゴールだったようで、本書のなかに彼らに対する賛辞が数多く登場するが、そのなかにちゃっかり自分の宣伝を加えるのを忘れないところが、現役時代に tricky Dick と呼ばれたニクソンの巧妙なワザではある。

ドゴールの偉大さといえはこんな挿話がある。ニクソンがケネディとの大統領選挙に敗れた後、加州知事選でも敗れ、誰もが彼の政治生命は完全に断たれたと思った時期に、彼は家族を連れて失意の欧州旅行

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

に出かけた。あにはからんや、パリに立ち寄ったニクソンをドゴール大統領が晝食に招待するとは。誰もが首をひねる破格の待遇である。その晝食の席でドゴールが「ニクソンは何れ必ず大統領に就任する」と断言し、それを聞いたニクソンも、同席を許されたポーランド大使も驚いたと云う。ドゴールは著書「剣の刃」のなかで、指導者の資質のなかで「知性」は重要だが、それと同じくらい大事なのが「権威」と「本能」であり、その本能のことを、アレキサンダー大王は「希望」、シーザーは「運」、ナポレオンは「星」と呼んだと書いている。ドゴールには「荒野を彷徨う」ニクソンに明るい未来があることを本能的な直観で見抜いたようだ。

本書の訳者・徳岡孝夫氏の筆力も見事だ。周恩来がニクソンに茅台酒を勧めながら、これは長征の頃によく飲んだ酒だと紹介するくだり。「あそこ茅台酒は万能薬でしたよと言う周の目は、まるで陣中膏を売る香具師のように光っていた」、何気ない訳文だが革命家・政略家、周恩来の本質に迫る表現である。

本書のなかでもうひとつ印象的なエピソードがある。ニクソン大統領がイスラエルのメア首相を迎えて会談したときのこと。反共の闘士メアは、欧州の指導者の多くがソ連との宥和をいかに無邪気に信じているかに語り及び、米国はどういうふうに対ソ関係を改善するつもりか尋ねたという。それに対しニクソンは「アメリカはソ連の野望に対して一切幻想を抱いてない」と断言し、そして国際関係に関する限り米国の基本方針は新約聖書の教えと少し違い、「相手が汝に為すごとく、相手にも為せ」なのだと言った。そばで聞いていたキッシンジャー補佐官が、すかさず「しかも10%増しでね」と半量を入れたのでメア首相はにっこり笑い「そういうアプローチをしてくださるかぎり、われわれも安心です」と答えたそう。

やられたらやり返せ。ユダヤ系政治学者のキッシンジャーは、控えめに「倍返し」ではなく「10%増し」と表現したのだろう。それから40年後のいま、願わくは日米安全保障問題、就中、南シナ海波高しの状況においてオバマ政権のケリー国務長官や、ヘーゲル国防長官、ライス補佐官たちが10%増しを日本にも準用して欲しいものだ。増やすぶんには20%でも100%でも構わないから。

本日の読売新聞によると、高視聴率で話題を読んだTBS系連続テレビドラマ「半沢直樹」が中国、台湾でも人気らしい。ネット上では台湾馬英九総統が司法干渉疑惑を理由にして失脚させようと企てた与党国民党の重鎮、王金平・立法院長が、最近猛然と馬英九に反撃しているのを見て、「やられたらやり返せ。これから半沢金平の加倍奉還(倍返し)が始まるよ」と煽る書き込みが相次いでいるという。馬英九政権は土壇場に追いつめられている。馬総統は外省人で、もともとパリパリの親中派だ。追い詰められた馬英九を、大陸がどんな手段を使ってサポートに動かすか。願わくは「半沢近平」の倍返しだけはご容赦賜りたい(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成25年10月23日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%（税込み）（約定代金が260,869円以下の場合、3,150円（税込み））の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して最大0.8400%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込（一部の投資信託は換金）手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%（税込み）の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%（税込み）（約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円（税込み））の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。